



12月4日(水)～10日(火)は 人権週間



総務課 秘書広報係 ☎37-0088

～人権が尊重される社会をめざして～

人権は誰にとっても 身近で大切なもの

すべての人間は生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利において平等であるとする「世界人権宣言」が国際連合で採択されてから、今年で76年。この機会に人権の大切さについて考え直してみませんか？

世界人権宣言とは

すべての人が人種、皮膚の色、性別、宗教、社会的出身などを理由に、差別を受けることがないと初めて公式に認めた宣言

「世界人権宣言」は、第二次世界大戦の反省から、平和を実現するためには世界的な人権保障が必要であるとして、1948年12月、国連総会において採択されました。

すべての人間が差別を受けることなく人間として尊重され、自由であり、平等であると定めており、国際社会の基本的ルールの大きな柱となっています。日本では、12月4日から10日の人権デーまでの一週間を「人権週間」と定め、広く人権の大切さについて啓発を行っています。



世界人権宣言

あらためて読んでみよう



▲国際連合広報センター
ホームページ

社会におけるさまざまな
人権問題

- ・ 女性 ・ こども ・ 高齢者 ・ 障がいのある人 ・ 部落差別
- ・ アイヌの人々 ・ 外国人 ・ 感染症 ・ インターネット上の人権侵害
- ・ 性的マイノリティに関する人権 ・ 震災等の災害に伴う人権問題

人権週間を迎えて

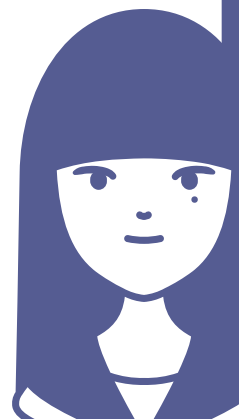
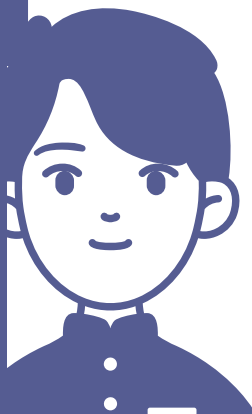
今年は、世界人権宣言が国際連合総会で採択されてから76周年になります。宣言の第1条には、「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない」と述べられています。

しかしながら「人権の世紀」といわれる21世紀に入り、既に20年以上が経過している現在であっても、従来から課題となっている、こども、女性、高齢者、障がいのある人や外国人などに対するさまざまな人権問題に加え、部落差別やハンセン病患者・元患者やその家族に対する偏見や差別といった人権問題が依然として根深く残っています。

さまざまな人権問題を解決するためには、多様性を尊重するとともに、全ての人々がお互いの人権や尊厳を大切にし、生き生きとした人生を送ることのできるよう、人権問題を「誰か」の問題ではなく、自分や自分の身近な人の問題として捉え、人権を尊重した行動をとることが大切です。



佐賀地方務局
人権擁護課長
飯塚 美香氏



市の取り組み

＼神埼小学校で人権の花運動を行いました／

人権の花運動とは

子どもたちが協力して花を育てることで命の大切さを実感し、その中で優しさと思いやりの心を身に付けてもらうことを目的とし、隔年ごとに市内の小学校を対象に佐賀・武雄人権啓発活動地域ネットワーク協議会（佐賀地方法務局、佐賀人権擁護委員協議会、神崎市）が花苗などの贈呈を行っています。



神埼小学校 4 年生がこの運動に取り組んでいます

今年度は神埼小学校 4 年生の児童たちが総合的な学習の一環で人権の花運動を行っています。10 月 29 日には人権擁護委員などが小学校を訪問し、花苗の贈呈や児童たちとの苗植え作業を行いました。

今後は 12 月の花の鑑賞会に向け、友達と協力して水やりなどの活動に取り組んでいきます。

学校へお立ち寄りの際は、児童の皆さんが上手に植えたお花をぜひご覧ください。



＼相談パートナーの人権擁護委員を知っていますか／

神崎市には 8 人の人権擁護委員がいます

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱を受けた民間のボランティアです。人権に関する悩み・心配事などの相談や、人権意識を醸成するための啓発活動を行っています。

現在、全国の各市町村に約 14,000 人の委員が配置されています。本市では、8 人の人権擁護委員がそれぞれの経験を活かしながら日々活動しています。

秘密は守られますので、気軽に相談してください。



城島 裕委員
(神埼町)



江口 敦子委員
(神埼町)



大久保 政晴委員
(神埼町)



光野 重洋委員
(千代田町)



野中 一由委員
(千代田町)



佐藤 悦子委員
(千代田町)



野口 和正委員
(脊振町)



森崎ひずる委員
(脊振町)



人権に関する相談窓口

無料

秘密
厳守

みんなの人権 110 番

こどもの人権 110 番

女性の人権ホットライン

平日 8:30~17:15

0570-003-110

平日 8:30~17:15

0120-007-110

平日 8:30~17:15

0570-070-810

行政・人権相談

☎ 37-0088

日時

市役所（本庁）原則第 3 月曜日 13 時～16 時
交流センター原則第 2 火曜日 13 時～16 時
交流センター原則第 2 金曜日 9 時～12 時



10/20

櫛田宮子ども相撲大会 豆力士たちが熱戦展開

第19回神崎市櫛田宮子ども相撲大会が櫛田宮相撲場で行われ、44人の豆力士たちが土俵上で熱戦を繰り広げました。

土俵際での逆転、取り直し、負けて悔し涙など、全ての豆力士が勝敗に関わらず最後まで全力を尽くしました。

熱い取組に観戦者からは大きな声援が送られ、会場は熱気に包まれていました。



10/20

全日本中国語スピーチコンテスト県大会 発音や感情表現など競う

第42回全日本中国語スピーチコンテスト佐賀県大会が、中央公民館で開かれました。高校生から一般まで17人が出場して、中国語の技量を競いました。

大会は神埼地区日中友好協会が開催し、学生と一般に分けて暗唱と朗読の部があり、発音の正確さや感情表現、流暢さなどをポイントに審査が行われました。

一般・暗唱の部では神崎市在住の吉原千絵さんも出場され、盛んな拍手を浴びていました。



10/20

神埼建設労働組合がボランティア 遊具塗装や建具、机など修繕

神埼建設労働組合会員による地域交流事業のボランティアが、ちよだ保育園で実施されました。

ボランティアでは、園庭にある遊具の塗装や園舎の建具、机の修繕などが行われました。

翌日、登園した園児たちは、きれいになった園の設備に大喜びの様子でした。

ボランティアにご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。



10/27

じろっこマルシェ盛況 多彩なワークショップや屋台楽しむ

親子で体験型ワークショップなどを楽しむ「じろっこマルシェ」が、千代田町のサールナートこども園で開かれました。

子どもたちが楽しめるイベントが欲しいと考えた子育て世代住民グループの実行委員会が企画し、地域の事業所の協賛を得て開いています。

マルシェでは、積み木競争やけん玉、パン作り体験など多彩な催しがあり、焼き鳥やハンバーガーなどの屋台も出店。多くの親子連れが、思い思いに楽しみました。



11/1

大きなお芋たくさんとれたよ！ 祖父母参観で芋掘り体験

仁比山保育園の園児たちが、祖父母参観でおいしいちゃん・おばあちゃんと一緒に芋掘りを楽しみました。

昨年度に続き、有限会社アグリベースにいやまの協力



により、植栽から芋掘りまでを体験することができました。

園児たちは、土の中の芋を見つけると「大きいよ！」「こんなにいっぱい！」「よりも大きい芋や、ツルに繋がったたくさんの芋を祖父母と一緒に掘り出して、大喜びの様子でした。

11/2

かんざき日の隈寮で秋まつり マジックショーやカラオケ大会で盛況

佐賀整肢学園・かんざき日の隈寮の秋まつりが開催されました。

今年は台風の影響で規模は縮小されましたが、約100人が参加。Natty&Matty(職員)によるマジックショーや揃いの法被姿での輪踊り、カラオケ大会、空気清浄機などが当たるビンゴゲームなど、内容は盛りだくさん。

カラオケ大会では、NHKのど自慢に出場経験のある職員の中島賢吾さんらが熱唱し、大いに会場を盛り上げました。



11/3

佐賀バルナーズと連携協定 スポーツの振興、健康増進へ

プロスポーツとの交流を通してスポーツの振興、地域の活力向上に取り組んでいくため、株式会社佐賀バルナーズと連携協定を結びました。

佐賀バルナーズのホームゲーム前に行われた締結式では、同社の田畠社長が「協力しながらさまざまな課題に取り組みたい」と話されました。

市長は「協定の締結を契機として、スポーツに接する機会を増やし、市民の健康増進やスポーツ振興を目指していきたい」と述べ、イベントへの相互参加などで協力・連携を行う予定です。



11/3

高取山公園で感謝祭&マルシェ開催 せふりの郷土料理に舌鼓

脊振町の高取山公園で「感謝祭&せふりマルシェ」が開かれ、県内外から訪れた客が郷土料理を堪能したほか、雑貨などの買い物を楽しみました。

感謝祭は公園の直売所に野菜を納入している出荷部会が毎年行っており、今年は「よりにぎわいを」とマルシェと組み合わせました。

感謝祭は山里の秋の恵みを食べてもらう趣向。同部会が作った「しし汁」や「栗小豆おこわ」、山菜などを使った料理がずらりと並び、多くの人から「山の幸がおいしい！」と笑顔がこぼれていました。

